



est.

Professional Homoeopath

1997

College of Holistic Homoeopathy

健康で幸せに生きる ZENホメオパシー

ホメオパシーは、ドイツ発祥の世界で広く使われている、
人や動物、植物などが、
そのものらしく生きられる自然療法です。

多くの病は、
自分自身を生きられないためにおこるのです。

CHhomで、心と体だけでなく魂も健康にする
ZENホメオパシーを学びませんか。

一人ひとりが自分らしく生きて、
この世に花を咲かせることを心から願っています。

CHhom 名誉学長

由井寅子



由井寅子 Torako Yui
日本におけるホメオパ
シー第一人者であり
CHhom創設者。
日本ホメオパシー医学
協会（JPHMA）名誉
会長、日本豊受自然農
株式会社代表なども
務める。体・心・魂を
三位一体で癒すZEN
ホメオパシーを確立。



プロフェッショナルホメオパスコースとは

CHhomプロフェッショナルホメオパスコースは、ホメオパシーを本格的に学び、日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)*認定ホメオパスを目指すコースです。プロフェッショナルホメオパスとして活動するために必要なホメオパシーの知識・技能や現代医学の基礎知識が学べます。

ZEN ホメオパシーを学ぶ中に 「人間はどう生きるべきか？」の答えがある

ホメオパスはクライアントに寄り添い、体・心・魂の三位一体で治療に導く職業です。そのためには、ホメオパス自身が自分を深く見つめ、インナーチャイルドを癒し、間違ったこだわりや価値観を手放し、靈性を向上させていくことが求められます。このように、CHhomプロフェッショナルホメオパスコースはホメオパシーを学ぶことが中心ですが、その学びを通じ、「人間はどう生きるべきか？」という問いへの答えも授業の中で見つけられます。これにより、人生が光り輝き、生きやすくなってゆくでしょう。



日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)は、ホメオパシー療法の国民への普及を図る活動を行っています。ホメオパシー学術大会を開催し、第25回大会(2024年)は約2万2千人が参加しました。



1

健康相談の臨床をライブで
体感・体験できる「生きた授業」



由井名誉学長による健康相談会をライブで見学可能。相談会をライブで公開するホメオパスは世界中でもほとんどいません。由井名誉学長がクライアントをどのように観察し、質問し、言葉をかけるのか、そして必要なレメディーをどのように選択するのかがよくわかる生きた学びが得られます。由井名誉会長がクライアントに投げかける言葉の一つ一つはクライアントだけでなく、見学する学生の琴線にも触れ、震える程の感動と共に自分自身に気づきが起こります。

2

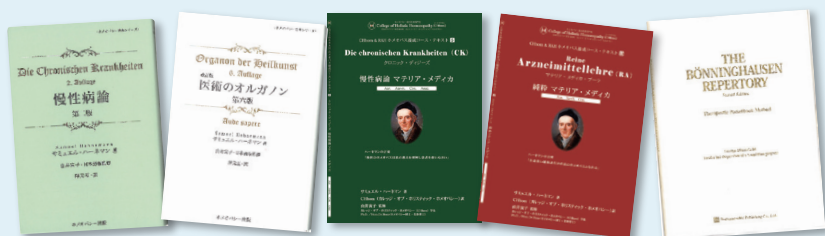
日本で初めて最大の本ホメオパシー専門校

CHhomは前進のRAHから数え設立28年。卒業生が相談会を行う健康相談センターが全国・海外に約300か所あります。多くの卒業生や学生同士が助け合う環境です。

3

CHhomが誇る特別な文献での学習

レメディーの実証結果が書かれた『マテリア・メディカ・プーラ』『慢性病のマテリア・メディカ』、これらのマテリア・メディカから忠実に作られた、症状からレメディーを探す辞典である『ボーンハウゼンのレポトリ』(TBR)など、CHhomの学生しか手にすることができない貴重な書で学習ができます。



学生特典

ZEN ホメオパシーを学べる

ZENホメオパシーとは、ハーマネンの教えをベースに、食の改善・インナーチャイルド癒し・信仰心の向上を取り入れ、総合的に体・心・魂の病気まで治療するアプローチです。ZENホメオパシーは、由井寅子名誉学長が30年の臨床経験を通して到達した真の治療のための最高峰であり、人の命を扱う治療家・ホメオパスにとって唯一無二の教えと言えるでしょう。

“ 体・心・魂を
三位一体で癒やす ”



ハーマネン
提唱の
ホメオパシー

食の改善
インナーチャイルド癒し
靈性の向上



● 豊受モール



ホメオパシー自然農で育った野菜、その野菜を使った加工品、化粧品などの対象商品を購入すると、豊受モールのポイントが15%付与されます。

● TBR



ホメオパスにとって必須のレメディ辞典ソフト「TBR」が購入可能。TBRは『ポーニングハウゼンのレパートリー』をCHhomがソフト化したもので、一般販売はしていません。

● QX-SCIO



元NASAの科学者が開発した波動測定器「QX-SCIO」が学生特別価格で購入可能です。

5 ホメオパス職業保険に入るための資格が唯一取得できる

CHhomの卒業資格を得ると、JPHMAの認定ホメオパスの受験資格が取得できます。JPHMAはホメオパス職業保険に入ることができる日本における唯一の職業団体であり、世界では職業保険を持つホメオパスだけがプロとして認められています。



CHhomプロフェッショナルコース

1日の講義：午前3時間・午後3時間 合計6時間

内容	必修科目	講義日数
ホメオパシー基本理論の理解		
基礎知識	ホメオパシー基礎	5
哲学・思想	ホメオパシー哲学	2
ホメオパシー原理	『オルガノン』購読 ★	13
	マヤズム論 ★★	1
マテリアメディカ	マテリアメディカ	24
メソッド	ホメオパシー方法論	5
現代医学・ホメオパシー病理学の理解		
解剖・生理 ★	現代解剖生理	10
病理・臨床 ★	臨床病理学	8
救急 ★	現代救急医学	3
ホメオパシー病理 ★	ホメオパシー病理学	12
ホリスティック病理	ホリスティック病理	4
ホメオパシーの実践および統合医療を学ぶ		
ケーステイク	ケーステイク分析授業	10
緊急時の対処	緊急時の対処とホメオパシー	1
薬理学 ★★	現代薬理学	3
助産学	ホメオパシー助産学	3
インナーチャイルド	インナーチャイルド癒し演習	2
カウンセリング	心理学	1
法規	関連法規	1
その他		
進級試験	-	2
ケーススタディ	健康相談回ケース視聴	10
4年間必修講義日数合計		120

※このカリキュラムは2024年12月現在の内容であり、変更になることがあります。

★ マヤズム論

ホメオパシーでは、代々遺伝を通じて慢性病が引き継がれるものを「マヤズム」と呼びます。各マヤズムについて由井名誉学長による霊の見解も含めてそのホメオパシー治療を学びます。

★ 臓器の疾患

ドイツの医師、臓器療法を発案したラデマッチャーが確立したマザーチンクチャー学を実践的に学びます。植物の生長するエネルギーが凝縮されたマザーチンクチャーは、弱った臓器、傷ついた臓器の新陳代謝を促し、人体の健康に有用であると考えられています。

★ 医原病へのホメオパシー的対処

日本人はヨーロッパ人の40倍の抗生物質をとっていると言われています。そんな日本人の現状に即し、医原病に対応したホメオパシー治療を学びます。

★ 現代医学

解剖生理や救急医学など現代医学の基礎を身につけ、人体構造や病気の進行を理解します。

概要

講義は「基本」と「実践」の2つに分かれています。「基本」では、ホメオパシーについてeラーニングを活用して学びます。いつでもどこでも、わからない部分は何度でも繰り返し、自分のペースで学習することができます。「実践」では、由井名誉会長による健康相談会をライブで見学して（東京校またはオンライン配信）、「基本」で習得した知識を実践を通して深めていきます。

eラーニング

学生専用サイトにて24時間視聴可
デバイスはパソコン推奨

入学時期

6月開講・以後随時入学可
(1年次の視聴期限は翌年5月末まで)

卒業条件

以下3条件が揃うと卒業可

- ① 必須科目の全単位80%以上取得
- ② 進級・卒業試験に全て合格
- ③ ケーススタディを100ケース相当視聴

修学期間

4年間(最短2年で修了可)

▼ 短期2年コース

1年目：1・2年次の授業をそれぞれ6か月で視聴
2年目：3・4年次の授業をそれぞれ6か月で視聴

▼ 短期3年コース

1年目：1・2年次の授業をそれぞれ6か月で視聴
2年目：3年次の授業を1年間で視聴
3年目：4年次の授業を1年間で視聴

オプション授業

別途授業料要

- ① マテリア・メディカII
- ② ホメオパシーセルフケア
- ③ 海外講師講義



交流会

講師や他の学生との交流会を3ヶ月毎に実施
ライブ会場またはZoomで参加



“

決めては「ホメオパシーの総本山だから」

正直、ホメオパシーを学ぶにあたってインターネットとかでも色々検索しました。学校もたくさんありますし、一年間で費用も抑えられて「ホメオパス」という呼称を与えられる学校もあったのですが、やっぱりホメオパシーを日本に持ってきて、学校をつくって、ここまで広めたのは、由井先生たちじゃないですか。ある意味四年間長いし、費用も掛かるしと思ったのですが、日本のホメオパシーの総本山はここだという最終的な決め手はそこでした。



CHhom11期
浅見 真由美

“

想像を遥かに超えた幅の広さと奥の深い授業

ホメオパシーに興味を持ちセルフケアで使い始め、その安全性と有効性を実感しました。医師として治療法の選択肢に加えることで多くの患者さんのお役に立てると考え、学び始めましたが、入学前の想像を遥かに超えた幅の広さと奥の深い授業で、興味が尽きない4年間でした。ホメオパシーは体と心の繋がりだけでなく魂まで見据えてバランスを整える、他に類を見ない治療法だと思います。特に由井名誉学長の30年の臨床から生まれたZENホメオパシーは、難病の方も治療にも導いています。実際のケースを見て学べるのはCHhomならではの。



CHhom1期
高野 弘之



入学前とは全く別人のような気持ちがしている

CHhomに入学する4年前はただの主婦でしたが、今とは全く別人のような気がしています。CHhomでの学びの中で、たくさんの分裂していたものが一つになって、ありのままの素の自分に戻れた喜びと、信仰心を通して大いなる存在を思い出し再び繋がれた喜びが、心を温かく、人生を信頼と愛の輝きでいっぱいにしてくれるからです。是非、暗いトンネルの向こうで「自分」からの救いを待っている、小さな「自分」を救いに行きましょう。まずは自分を救いましょう。ZENホメオパシーと私たちにはそれができます。



CHhom5期
櫛田 美智恵



CHhom10期
石田 信子

授業を聞いているだけでなぜか涙が出てくる

由井先生をはじめ、講師の皆さんがとても熱心で、ご自身の全てをかけて教えてください、今まで習った学校とは違うと感じます。由井先生の授業は、聞いているだけでなぜか知らないけれど涙が出てきて、先生に私の人生をお話したことはありませんが、本当にすべてお見通しという感じで、先生はまさに「日本国民のお母さん」という存在感の方だと思っています。由井先生がホメオパシーに出会い、それを私たちに教えてくださったこと、そして先生が生きている時代に自分が生まれることができ良かったなど、感謝以外の言葉がありません。



由井 寅子

Yui Torako

CHhom名誉学長およびJPHMA名誉会長。日本人初の英国ホメオパシー医学協会認定ホメオパスとなり、英国でホメオパシークリニックを開設。日本におけるホメオパシーの普及に尽力、その礎を築く。

菊田 雄介

Kikuta Yuzuke

サポートシンクチャー活用術などのセミナー講師として高い人気を誇る。由井名誉学長の講義を長年サポートし、難病治療やインナーチャイルド癒しを通じてZENホメオパシーの極意を直接学ぶ。



松尾 敬子

Matsuo Keiko

甲状腺、腎臓、肝臓、リウマチ、癌などの慢性病における改善症例を多数持つ。明快で熱意あふれる語り口が人気。創設者である由井名誉学長の後を継ぎ、JPHMAの2代目会長を歴任し、現JPHMA名誉会長。



高宮 義和

Takamiya Yoshikaeru

癌の宣告を受け闘病し、由井名誉学長のZENホメオパシーで克服した経験を持つ。講演会の企画を手がけるスタッフとして活躍中。二児の父として子育てに奮闘しながら、初心者向けの出張講演も行っている。



高野 弘之

Takano Hiroyuki

内科医・小児科医。医療法人豊受会豊受クリニック院長。人間本来の自然治癒力を尊重し、患者に寄り添う診療を行う。CHhomでは救急救命医学の講義を担当し、全国で講演活動も行う。



小谷 宗司

Kotani Shuzi

薬草学の講義を担当。長野県製薬の取締役製造部長や信州大学特任教授を歴任し、日本伝統漢方の復興に尽力。全国で薬草栽培の指導を行い、長野県王滝村・木曾御嶽神社の氏子総代も務める。





新城 英一

shinjo eiichi

ホメオパシーの基本知識と病理に精通。由井名誉学長のもとで講義のサポートを務めた後、地元沖縄に戻り、お父さんホメオパスとして活躍。また、農業に挑戦中の「ホメファーマー」でもある。

増田 敬子

Masuda Takako

現代西洋医学の解剖・生理学をホメオパスの視点で解説。専門の運動学を活かし、コアトレーニングや脳トレーニング、免疫力を向上させるボディワークなどの講演やセッションも人気を集める。



酒向 猛

Sakou Takeshi

現役の医師。CHhomでは現代医学の生理・病理学、千鳥学説、特に専門の癌の病理の講義を担当。セントマーガレット病院・統合医療科部長時代に統合医療の一環としてホメオパシーを導入した。



東 昭史

Aezuma Akihito

フラワーエッセンス研究者。由井名誉学長のもと日本の植物からフラワーエッセンスを開発し、『ファー・イースト・フラワーエッセンスの魅力』などの著書がある。繊細かつ鋭い感性で花のスピリットを読み解く。

トレバー・ガン

Trevor Gunn

生化学者・英国ホメオパス。由井名誉学長の招聘を受け、『予防接種は果たして有効か』をテーマに歴史的講義を行う。ホリスティック医学の視点で描く病理学は、現代医学の常識を覆し真の理解を与える。



マリナ・シウマス・リンブ

Malina Ciomasu Rimba

ルーマニアのジェモセラピー・ホメオパシー団体代表であり、緊急陸軍病院の予防治療部署の医師も務める。ジェモセラピーや植物療法を実践し、ルーマニアの医師にホメオパシーの講義を行っている。

1



健康相談会の臨床のライブを卒業後も無料で視聴可能

由井名誉学長の健康相談会を卒業後も視聴可能です。最新のメソッドや新たに生まれたレメディー情報などを継続的に学べて、最新のZENホメオパシーを吸収できます。

2



スーパーヴァイス制度

先輩ホメオパスに1対1で、難しいケースやクライアントへの対応について相談したり、ホメオパシーセンターの運営に関するアドバイスを受けたりできます。

3



卒業生対象スキルアップ講座

各ホメオパスが担当した難しいケースについて、成功例だけでなく失敗例も含め、どのように取り組んだかを共有します。最新の症例発表や意見交換、交流会も行います。

4



ファミリーホメオパスコースを開催

CHhomと共催で、レメディーの基本キットを使いこなしてセルフメディケーションを学ぶ、新生ファミリーホメオパスコースを、講師として開講することができます。



年齢的に記憶力が心配です。
授業について行けるでしょうか？



大丈夫です。まずは「優秀であることが善」というこの世的価値観を外しましょう。

CHhomには、子育てを終えた方、定年退職をされた方など人生経験豊富な方も多く、70代で学んでいる方もいらっしゃいます。皆さま、レメディーを取りながらインナーチャイルドを癒し、「優秀であることが善」というこの世的価値観が外れることで、授業への不安も減っていくようです。実際に授業を受ける中で、この感覚が自然と理解できるはずですよ。ホメオパシーは経験の医学であり、机上の学びだけではありません。人生経験はホメオパスとしての強みになります。「ホメオパシーを学びたい!」という魂の声を大切に、人生のセカンドステージへの扉を開きましょう。



eラーニングを自宅で一人で続けられるかが不安です。
学生同士の繋がりはありますか？



定期的な交流会やLINEグループなどがあります。
一人ではないので、安心してください。

定期的に学生と講師が参加する交流会を開催しています。ライブ会場やZoomで参加可能です。また、ほぼ毎週行われる由井名誉学長のケーススタディは、ZENホメオパシーを実践で学べる貴重な機会です。この際、学生同士が集まったり、卒業生からアドバイスを受けられることもあります。さらに、各学年ごとにLINEグループを設けており、意見交換や情報共有が活発に行われています。一人ではありませんので、安心して学んでください。



インナーチャイルドコース

インナーチャイルドを潜在意識から顕在意識へと浮上させ、苦しみに光を当てて癒していきます。

※修了試験に合格するとJPHMA認定インナーチャイルドセラピストの資格認定を取得可能



アニマルホメオパスコース

言葉を話さない動物の少ない情報から症状像を捉える観察眼を養い、ペットを通して飼い主も癒せるようになります。

※プロフェッショナルホメオパスコースの2年次より受講可能



日本のフラワーエッセンスコース

フラワーエッセンスの歴史や日本の様々なフラワーエッセンスの特徴と使い方、コンビネーションエッセンスやケーステイクなどを学びます。



新 霊性オルガノンコース

「医術のオルガノン 第六版」の内容を踏まえ、ハーネマンが現代に生きていたらどう考えるのか、という観点を含め、オルガノン第六版の先に行く講義を行います。

入学までの流れ

1 資料請求

イベント・講演会・交流会にもぜひご参加ください



2 入学書類のご提出

必要事項をご記入の上、郵送にてご提出ください



3 入学審査・合否連絡

筆記（一般教養+論文）および面談を東京校または京都拠点、オンラインで実施

合格の場合は授業料の請求書をお送りします

※入学試験には5,000円の受験料がかかります



4 授業スタート

配信を視聴するための学生専用サイトのID及びパスワードは6月にお送りします



授業料

[入学金] 15万円

[授業料] 一括の場合：39万円(税込)

二分割の場合：前期21.5万円(税込) / 後期19.5万円(税込)

※それ以上の分割の希望については個別相談可

[テキスト] 豊受モールにて各自購入(4年間で約10万円)



CHom 東京校

学校、健康相談センター、レストラン、
自然食品を販売するショップ、
クリニックが併設。

お気軽に
お問合せください } ☎03-5797-3250
✉chom@homoeopathy.ac
(営業時間：火-土 9:30-17:00)

〒158-0096 東京都世田谷区玉川台2-2-3 矢藤第3ビル

● 東急田園都市線用賀駅(南口) 徒歩8分

● 瀬田交差点より100m





Let's get the
qualification for a
professional homoeopath
at College of Holistic
Homoeopathy